

# H26年度健康寿命を延長する取組推進モデル事業 (がん検診受診率向上対策)

## <概要>

なら健康長寿基本計画の最終目標である県民の健康寿命日本一を目指すため、健康寿命延長に寄与する健康行動(がん検診受診率向上対策)の効果的な普及対策について、実際に数市町村でモデル的に実施し、県内全域への普及を図る。

## <事業内容>

県内モデル市町村で、がん検診受診率向上に向けた効果的な取組を県の委託事業として実施する。外部専門家のアドバイスを受け、県、保健所、市町村が協働して対策を実施し、各モデル事業の成功事例を県内市町村に普及・展開する。

## モデル市町(4市町)

天理市・五條市・王寺町・川西町

## モデル市町の主な取組

### <天理市>

5がん検診個別受診勧奨と効果的な普及啓発事業

### <五條市>

がん検診受診の市民実態調査と効果的対策の検討

### <川西町>

大腸がん検診個別受診勧奨・再勧奨事業

### <王寺町>

子宮がん・乳がん検診個別受診勧奨・再勧奨

## モデル事業の流れ

### H26年度(4市町村で実施)

事業実施→中間報告会→最終報告会

### H27年度(全市町村へ情報提供)

- モデル事業成果とりまとめ
- モデル事業の成果を踏まえ、県としての対策を検討
- 報告会の開催  
H27.6.10開催
- 成功事例の波及

## 天理市モデル事業

### 【内容及び対象】

ソーシャルマーケティングの手法を活用した効果的な普及啓発→個別受診勧奨の工夫

- ①5がん検診(40～69歳男女)
- ②子宮がん検診(20～29歳)

※過去5年間受診歴なし

- ②乳がん・子宮がん検診(30～69歳)

### 【工夫点】

はがきのデザイン、年齢や性別にあわせたメッセージ個別受診勧奨の時期等

### 【結果】

- 胃がん 555人(H25年度)→938人(H26年度)
- 肺がん 430人(H25年度)→860人(H26年度)
- 大腸がん  
1,442人(H25年度)→1,844人(H26年度)
- 乳がん※40歳から69歳で比較  
967人(H25年度)→1,033人(H26年度)
- 子宮がん※40歳から69歳で比較  
544人(H25年度)→775人(H26年度)

**肺がん検診は、受診者数が2倍！  
胃がん検診でも、1.7倍！**

## 五條市モデル事業

### 【内容】

五條市におけるがん検診受診の市民実態調査と効果的対策の検討

### 【対象】

40～74歳 2,000名（年代別人口により各年代より無作為抽出する）

### 【実施期間】

平成26年9月12日～10月3日

礼状及び督促状発送(9/26)、意識調査票集計・分析(10/6～)

### 【調査内容】

- (1)市のがん検診の認知状況
- (2)がん検診の受診状況
- (3)がん検診の今後の受診意図
- (4)がん検診受診に影響する意識
- (5)市の実施体制について
- (6)これまでの取り組みの効果検証

### 【結果(がん検診受診率)】

- 胃がん検診 **27.8%**
- 肺がん検診 **42.0%**
- 大腸がん検診 **36.8%**
- 乳がん検診 **42.0%**
- 子宮がん検診 **37.4%**

**市町村・職域・  
個人受診を含めた  
がん検診受診率**

## 川西町モデル事業

### 【内容】

- ◆大腸がん検診の個別受診勧奨・未受診者へ再勧奨(コール・リコール事業)
- ◆がん検診に関するアンケート調査  
調査内容
  - ・検診の認知経路
  - ・検診の受診理由
  - ・がんについてのイメージ
  - ・早期発見、早期治療の認識 など

【対象】40～69歳 男女

\* 国立がん研究センター開発リーフレット活用

### 【結果】

- ◆大腸がん検診受診者数  
246人(H25年度)→598人(H26年度)  
**2.4倍!**
- ◆がん検診に関するアンケート調査結果  
がんについてのイメージ  
どちらかといえばこわい 44.2%  
こわい 38.3%



早期発見・早期治療で治癒することを更なる啓発  
(川西町コメント)

## 王寺町モデル事業

### 【内容】

子宮頸がん、乳がん検診の個別受診勧奨・未受診者への再勧奨(コール・リコール事業)

### 【対象】

子宮頸がん 20～61歳

乳がん検診 40～61歳

\* 国立がん研究センター開発リーフレット活用

### 【結果】

- ・子宮頸がん検診受診者数(無料クーポン対象者以外)  
210人(H25年度)→371人(H26年度)  
**1.8倍!**
- ・乳がん検診受診者数(無料クーポン対象者以外)  
129人(H25年度)→223人(H26年度)  
**1.7倍!**